

## 新たな仕組み成長産業を取り入れた障がい者と高齢者雇用

～交流の拡大、移住・定住者の拡大を目指し～

### 1. 静岡流通センターや遊水地を活用した取り組み事例(案)

#### (1) パーソナルモビリティ

パーソナルモビリティ (Personal Mobility) は、先進技術を用いた立ち乗り電動二輪や町中で利用を想定した 1～2 人乗りの小型電動コンセプトカー等を包括する次世代自動車の概念である。

現在は、様々な自治体が特区制度を活用して実証実験を行うほか、全国 35 都道府県知事が集まる「高齢者に優しい自動車開発推進知事連合」において、パーソナルモビリティ等を活用した社会システムの構築にめけた取り組みが始まっており、地域社会における新たな交通手段として注目されている。麻機地域においては病院と連携しながらパーソナルモビリティを活用した移動に伴う各種データの蓄積や、安全性や操作性などに関するデータ蓄積や車椅子への応用が期待される。



#### (2) 地域資源の活用

##### ■アシ

- ・セルロースナノファイバー（植物繊維を活用した軽量で高強度繊維）などの次世代素材での活用。
- ・エコ用紙や、アシのクッキー、アシ舟などでの活用。

##### ■レンコン

- ・麻機で収穫されたレンコンを利用した蓮根生姜飴の商品化。

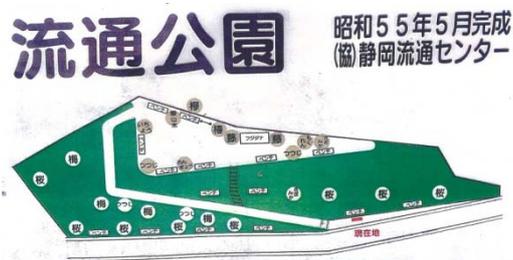
##### ■漆

麻機での漆栽培と漆を活用した食器等の漆塗り等での活用。



#### (3) 流通センターの裏山や麻機周辺の山の活用

山地を活用した梅園、果樹園の整備や、流通公園（アスレチック、ベーベキュー等）を再整備し、観光資源としての活用する。



#### (4) 障がい支援センターの設置、職業訓練の場としての活用

流通センター内に、障がい支援センターを設置するとともに、障がい者の職業訓練の場として活用する。